

だれもがやってみたくなる園地（トレーニングファーム）の整備によるかんきつ産地の担い手育成

小規模園地整備

整列樹形

果樹型TF

担い手育成

- 取組者：JA広島果実連株式会社
- 所在地：広島県三原市（佐木島）鷺浦農園
- 問合せ先：広島県果樹農業振興対策センター（082-420-7150）

活用した国の事業（予定等を含む）：果樹経営支援対策事業、果樹未収益期間支援事業、未来型果樹農業等推進条件整備事業、産地生産基盤パワーアップ事業



【取組概要】

- ・広島県産果実の生産量及び生産者数が減少。担い手育成のため平成24年に県、市町、JA等が技術修得から就農まで一貫した支援体制を構築した。
- ・かんきつ産地は、急傾斜地や小区画の園が多く、作業効率を改善するには**就農初期の投資が必要で経営安定まで時間がかかる。**

・JA広島果実連が、国の事業を活用し**園地の整備と植栽**を行い、**成園化した段階で新規就農者等に渡す**仕組みづくりに着手した。

- ・JA広島果実連は、鷺浦農園の一部を直営農場として管理し新規就農者の**研修等**を実施する。その他の園地は、**業務委託園地として活用**し新規就農者等が利用する。
- ・機械（SS等）の共同利用や生産管理の統一化により、**新規就農者の初期投資の削減や技術指導により栽培管理の不安が解消する。**
- ・新規就農者は、**研修後成園の業務を受託することで収入**が得られ、JAは取扱量を確保でき産地の維持・強化と地域の活性化につながる。

【整備内容】

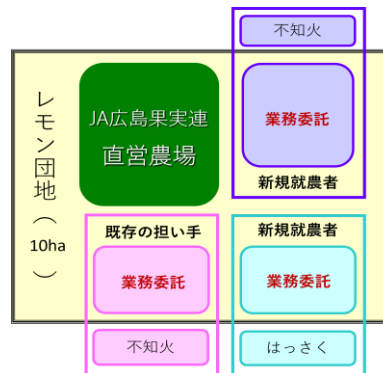


園地整備前のレモン園地



園地整備後のレモン園地

- ・小規模基盤整備（傾斜緩和、土壌土層改良等）及び改植・新植の際、機械やトラックが入ることを想定した整列樹形や点滴灌水（一部の園地は自動灌水）により**省力化**。



図：鷺浦農園のイメージ

【苦労】

新規就農希望者はいるが、初期投資（借金）と未収益期間の不安があり就農が進まない。

【工夫】

①一般企業に就職するように就農できる仕組みが必要であり、②環境整備（園地等）を**自らやれば**新規参入は進むと考えて**JA広島果実連が実施**（住居等は行政で対応）。

★**業務委託することで**、鷺浦農園全てのレモンを共販に仕向けることで**JAグループも取扱量を確保**。

★**果樹経営支援対策事業等を活用して農地整備等を行うことで、初期投資を軽減**。

※整備、改植・新植及び未収益期間の補助により、整備初年度の費用負担0円。（注：当産地の概算）

【今後の展望】

地元（産地）と関係機関が一体となり、10haのレモン団地の整備を行い、担い手の確保・規模拡大につなげることで**果樹産地の維持・強化、地域の活性化を図る**。